山家悠紀夫『日本経済30年史』岩波書店 2019年

第9章 日本は世界一の金余り国 —ギリシアにはならない (第3章～第8章への補論)

◇日本政府は巨額の借金を抱えているが..... 291

国債残高 897 兆円、地方債なども合わせた借金残高 1300 兆円 2019 年度末推計
国は新規発行国債 30 兆円超、借換債 100 兆円、を毎年発行。すべて消化

◇日本は世界一の金余り国 294

- 政府部門：金融資産残高－負債残高＝△740 兆円
 - 法人企業部門（金融機関を除く）：同上式＝△490 兆円
 - 家計部門：同上式＝1509 兆円の資産超過～現金、預金、証券、保険など
- 日本全体では 341 兆円の金融資産超過 国内では使いきれない余剰資金（誰が持っている？）

◇日本はギリシアには決してならない 295

ギリシアは国内にお金が十分になかった。
ギリシア国債は海外保有→政府の発表に偽り→国債が売りに出されて値下がり
日本国債は 90%が国内で保有。日本の国債は売りに出されてもすぐに買い手がつくだろう
日本国債を売っても手に入るのは円→他国の国債を買うには為替リスクを負う

全般的な円安が止まりそうにないとき～日本国債の問題ではなく日本経済全般の問題 297

◇財政再建、あわせて社会保障の拡充などは必要 298

日本財政の現状は不健全。ギリシアのようになるおそれはないであろうが。
財政再建は必要
基礎的財政収支¹＝国債費以外の支出 78 兆円－税収その他の経常収入 69 兆円＝9 兆円が必要
財政均衡の回復には特例公債の発行をゼロに→26～33 兆円が必要。

◇貧しい日本の社会保障制度の拡充が必要 299

1. 制度はあっても内容が貧弱。年金は老後の生活を保障できない
 2. 制度を利用できない人が多数。生活保護カバー率 3 割
 3. 制度利用者の負担が重い。医療保険の 3 割負担
 4. 制度の現場で働く人の処遇が劣悪。介護、看護、保育
- 図表 6-9 OECD 加盟国と比べて高齢化率が高いのに社会支出の対 GDP 比が低い あと 44 兆円

◇財政健全化は可能である、社会保障制度の拡充も可能である 302

財政健全化のために 33 兆円＋社会保障制度の拡充に 44 兆円＝約 80 兆円を捻出できるか
日本の国民所得 400 兆円×国民負担率の仏との差 0.244＝97 兆円 税収と社会保障財源の可能性
消費税増税は無理。負担能力ありは大企業、資産家、会社役員、実業家

¹ プライマリーバランスのこと 本書 283p-L3